


事務事業名		湾内ごみ処理事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	0:2: 自然豊かな環境の保全と創造		事業期間		予算科目			
	施策名	0:5: 環境の保全と共生							
	基本事業名	0:2: 湾内・河川環境の保全		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 5 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度～ 年度  全体計画欄の総投入量を記入		01	04	02	01
所属	根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同施行規則、							
	部課名	生活福祉部 市民生活環境課							
	係名	環境衛生係	電話 27-3111 内線 126						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ)			
<p>市が県から清掃船「さんご丸」の運航管理の業務委託を受け、それを市が(榎大船渡港業)に再委託し、大船渡湾内に浮遊するごみを回収している。回収したごみは、赤崎町永浜貯木場に設置しているコンテナに陸揚げし、満杯になった都度、別途処理している。運航は、ごみ回収有の運航と見回りのための回収なしの運航があり、大雨災害を除き、通常は、原則として週2回の運航を行っている。また、大雨災害時には、臨時運航し、回収に当たっているほか、さんご丸での回収が困難な場所においては、船外機船での回収や陸上から現場に向いて、トラックでの回収に当たっている。なお、清掃船が安全に運航できるように定期的に船舶の維持管理やごみ回収機材等の点検も業務委託している。</p> <p>事業費は、清掃船の運航管理業務委託料、ごみ処理委託料として支出される。</p>						総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金	
								都道府県支出金	
								地方債	
								その他	
								一般財源	
事業費計(A)	0								
正規職員従事人数									
延べ業務時間									
人件費計(B)	0								
トータルコスト(A)+(B)	0								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		
<p>手段(主な活動)</p> <p>前年度実績(前年度に行った主な活動)</p> <p>ごみの陸揚げ運航73日、陸揚げなしの運航15日、計88日運航し、223㎡のごみを回収した。また、延べ30日間、清掃船が安全に運航できるように維持管理に当たった。</p> <p>今年度計画(今年度に計画している主な活動)</p> <p>年間延べ95日間運航し、ごみの回収に当たる。また、整備、点検等の管理については、延べ30日間当たる。</p>		名称	単位	
<p>対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等</p> <p>大船渡湾 清掃船「さんご丸」</p>		ア	ごみ回収運航計画日数	日
		イ	ごみ回収なし運航計画日数	日
		ウ	船体管理計画日数	日
<p>意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)</p> <p>湾内に浮遊するごみを回収し、処理する。</p>		対象指標(対象の大きさを表す指標)		
		名称	単位	
		カ	ごみ回収運航日数	日
<p>結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)</p> <p>港湾・河川への環境負荷を軽減し、公共用水域の水質を保全する。</p>		キ	ごみ回収なし運航日数	日
		ク	船体管理日数	日
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		
		名称	単位	
		サ	苦情件数	件
		シ	ごみ回収要請件数	件
		ス		

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(目標)	22年度(目標)
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円	4,595	4,407	4,258	4,239	4,200
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	2,909	3,030	2,953	2,950	4,063
	事業費計(A)	千円	7,504	7,437	7,211	7,189	8,263	
	人件費	人	2	2	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	220	220	220	220	220	
	人件費計(B)	千円	880	880	880	880	880	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	8,384	8,317	8,091	8,069	9,143	
活動指標	ア	日	80	80	80	73	70	
	イ	日	25	25	15	15	15	
	ウ	日	30	30	30	30	30	
対象指標	カ	日	87	80	80	73	70	
	キ	日	26	25	15	15	15	
	ク	日	28.5	30	30	30	30	
成果指標	サ	件	1	2	2	1		
	シ	件	1	2	2	1		
	ス							

事務事業ID	0082	事務事業名	湾内ごみ処理事業
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 大雨時に、盛川をはじめとする市内の河川等からヨシガヤ等のごみが湾内に流入し、カキ養殖筏や船舶航行の障害となることから、漁民等が出動し回収作業に協力していただいているが、大船渡港港湾整備計画に合わせ、漁民等から清掃船配備の要望があり、これを受けて整備された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 清掃船を配備するに当たっては、大雨出水時だけでなく通常時も湾内に浮遊ごみがないよう運航することで配備計画が進められ、配備後は、週2回の運航により回収が行われていることに加え、4年前から盛川、立根川において、立枯れたヨシガヤの刈り取りしているため、漁民や清掃船運航委託業者から、出水時におけるヨシガヤの流出ごみの量が少なくなったとの声が寄せられている。なお、大雨出水時においては、清掃船の運航とともに、漁民等の協力や業者委託により浮遊ごみの回収が行われている現状にある。18年度はごみ処理費用の一次的高騰により、事業費が増大した。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 市民からは、湾内の隅々まで清掃作業を実施してほしいとの要望があり、特に、赤崎側だけでなく大船渡町側も巡回して、ごみの回収に当たってもらいたいとの要望が時々出されたが、18年度以降はこうした要望はなかった。なお、漁民等から岸壁等にごみを陸揚げしていただいたので回収してほしいとの連絡、要請がある。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] 大船渡湾内の浮遊ごみ等を回収することにより、養殖作業等の障害をなくすとともに、環境負荷の少ない、快適な港湾環境の創出が図られる。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] 清掃船は、大船渡港港湾整備計画において、漁民等からの要望により配備されたものであり、配備するに当たっては、港湾管理者である県と市で運営管理費を負担することとした経緯にあるため。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] 通常時においては、浮遊ごみの回収が順調に行われている。また、大雨時には、委託業者や漁民の協力により回収作業が一斉に行われるため大部分は回収されるが、その後は、各所に散在する浮遊ごみを清掃船が回収に当たる。回収範囲は、広範囲であるが、その作業は1週間程度かかり回収を終える状況にある。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] 海上からのみでは、効率的に浮遊ごみの発見や回収ができない。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] 清掃船以外に、専門に湾内清掃を行っている船はない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] 清掃船以外に、専門に湾内清掃を行っている船はない。
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 浮遊ごみ確認のための方法は、清掃船への乗船人員を減らすとともに、車両巡回による陸からの方法も取り入れることとし、陸揚げなしの運航の見直し等により、成果を下げずに事業費の削減を図る。ただし、事業費全体で見ると、ごみ処理単価の高騰により、18年度は補正予算を必要とするなど、事業費の増加が見られた。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 清掃船の運航、維持管理のすべての業務を委託している。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] 大船渡港は、県管理の港湾と漁港、市管理の漁港であり、その中の流入するごみは、原因者不明の不特定のごみであることから、受益者負担を強いることができない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>湾内の浅瀬や船を係留している狭い漁港内では、回収してもすぐにごみが溜り、特に、末崎町側の湾口防波堤の付け根部分には、風向きにより浮遊ごみが滞留しやすく回収しきれない状況にあり、回収方法を清掃船ではなく、車両による陸側からの回収に替えた結果、ほぼ全てのごみの回収が可能となった。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>委託業務の仕様については見直しを行い成果が現れていることから、現状を維持するものとする。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	市民生活環境課長	
-------	----------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>湾内の浅瀬や船を係留している狭い漁港内では、回収してもすぐにごみが溜り、特に、末崎町側の湾口防波堤の付け根部分には、風向きにより浮遊ごみが滞留しやすく回収しきれない状況にあり、回収方法を清掃船ではなく、車両による陸側からの回収に替えた結果、ほぼ全てのごみの回収が可能となった。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>委託業務の仕様については見直しを行い成果が現れていることから、現状を維持するものとする。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
